

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第31期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社ジャストシステム
【英訳名】	JUSTSYSTEMS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 福良 伴昭
【本店の所在の場所】	徳島県徳島市川内町平石若松108番地4
【電話番号】	088(666)1000(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 内藤 興人
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿6丁目8番地1号 住友不動産新宿オークタワー
【電話番号】	03(5324)7900(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 内藤 興人
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期連結 累計期間	第31期 第2四半期連結 累計期間	第30期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	5,942,161	6,225,791	12,811,746
経常利益(千円)	270,567	885,749	1,640,271
四半期(当期)純利益(千円)	459,831	871,162	1,827,885
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	383,531	1,015,752	1,692,860
純資産額(千円)	16,837,327	19,162,408	18,146,655
総資産額(千円)	19,946,732	22,165,718	21,108,462
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	7.16	13.56	28.46
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	84.4	86.5	86.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,866,200	1,794,873	3,541,896
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	366,907	355,800	621,577
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	31,896	35,393	65,550
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	6,029,540	8,733,001	7,415,299

回次	第30期 第2四半期連結 会計期間	第31期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.81	16.83

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第30期第2四半期連結累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、第30期及び第31期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第30期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況にある中で、持ち直してはきているものの、急速な円高の進行など先行き不透明な状況で推移しております。このような状況の中、当社グループは、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供を推進し、より一層の経費削減に努めた結果、当第2四半期累計期間において株式上場以来の営業最高益となりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は62億25百万円（前年同期比2億83百万円増）となりました。また、営業利益は10億99百万円（前年同期比6億円増）、経常利益は8億85百万円（前年同期比6億15百万円増）、四半期純利益は8億71百万円（前年同期比4億11百万円増）となりました。当社グループの事業区分はソフトウェア関連事業のみであるため、セグメント情報の開示におけるセグメント情報に関する事項を省略しております。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億57百万円増加しました。主な要因は現金及び預金が13億16百万円増加したことなどによるものです。当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて41百万円増加しました。未払費用等が増加しましたが、買掛金等が減少したことなどによるものです。当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて10億15百万円増加しました。これは利益剰余金が8億71百万円増加したことなどによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13億17百万円増加し、87億33百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は、税金等調整前四半期純利益の計上などにより、17億94百万円（前年同期比71百万円減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、無形固定資産の取得などにより、3億55百万円（前年同期比11百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、ファイナンス・リース債務の返済により35百万円（前年同期比3百万円増）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、8億92百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	66,163,200
計	66,163,200

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	64,224,800	64,224,800	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	64,224,800	64,224,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	64,224,800	-	10,146,515	-	5,355,754

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社キーエンス	大阪府大阪市東淀川区東中島1丁目3-14	28,234	43.96
浮川 和宣	徳島県徳島市	5,440	8.47
浮川 初子	徳島県徳島市	4,532	7.05
橋本 昭	徳島県徳島市	1,215	1.89
福良 伴昭	徳島県徳島市	1,100	1.71
永井 春夫	三重県鈴鹿市	696	1.08
ジャストシステム従業員持株会	徳島県徳島市川内町平石若松108-4	485	0.75
日本トラスティ・サービス信託 銀行(株)	東京都中央区晴海1丁目8-11	367	0.57
浮川 寿子	愛媛県新居浜市	318	0.49
松井証券(株)	東京都千代田区麹町1丁目4	239	0.37
計	-	42,629	66.37

(注) 1 当第2四半期会計期間末現在における、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託業務の株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

2 浮川和宣氏及び浮川初子氏から、平成23年9月29日付の大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、平成23年9月21日現在での各々の保有株数の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができませんので、株主名簿上の所有株式数を上記大株主の状況に記載しております。

なお、浮川和宣氏及び浮川初子氏の大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

大量保有者 浮川和宣氏

住所 徳島県徳島市

保有株券等の数 7,440,100株

株券等保有割合 11.58%

大量保有者 浮川初子氏

住所 徳島県徳島市

保有株券等の数 5,532,000株

株券等保有割合 8.61%

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 64,221,000	642,210	-
単元未満株式	普通株式 3,400	-	-
発行済株式総数	64,224,800	-	-
総株主の議決権	-	642,210	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれており、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ジャストシステム	徳島県徳島市川内町平石若松108番地4	400	-	400	0.0
計	-	400	-	400	0.0

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,066,092	9,382,321
売掛金	2,796,028	2,862,472
商品及び製品	111,521	90,776
原材料及び貯蔵品	169,424	163,510
その他	503,388	573,522
貸倒引当金	4,447	3,224
流動資産合計	11,642,008	13,069,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,987,830	3,884,610
土地	3,569,077	3,569,077
その他(純額)	244,015	214,805
有形固定資産合計	7,800,924	7,668,493
無形固定資産		
ソフトウェア	409,798	414,737
ソフトウェア仮勘定	62,729	35,947
その他	2,080	1,462
無形固定資産合計	474,608	452,147
投資その他の資産		
投資有価証券	181,422	179,482
その他	1,011,248	797,965
貸倒引当金	1,750	1,750
投資その他の資産合計	1,190,921	975,697
固定資産合計	9,466,454	9,096,339
資産合計	21,108,462	22,165,718
負債の部		
流動負債		
買掛金	331,570	273,889
未払金	482,690	550,789
未払法人税等	47,250	51,235
賞与引当金	430,623	395,602
その他	822,004	908,259
流動負債合計	2,114,139	2,179,776
固定負債		
繰延税金負債	161,080	159,040
退職給付引当金	617,252	602,614
その他	69,334	61,878
固定負債合計	847,667	823,532

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債合計	2,961,807	3,003,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,146,515	10,146,515
資本剰余金	12,293,972	12,293,972
利益剰余金	4,172,335	3,301,172
自己株式	553	553
株主資本合計	18,267,598	19,138,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	423	1,310
為替換算調整勘定	121,366	22,336
その他の包括利益累計額合計	120,943	23,647
純資産合計	18,146,655	19,162,408
負債純資産合計	21,108,462	22,165,718

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,942,161	6,225,791
売上原価	1,646,368	1,783,644
売上総利益	4,295,793	4,442,146
販売費及び一般管理費	1 3,797,349	1 3,343,126
営業利益	498,444	1,099,020
営業外収益		
受取利息	1,666	3,008
受取配当金	263	270
受取賃貸料	27,507	35,995
その他	10,500	15,460
営業外収益合計	39,937	54,734
営業外費用		
為替差損	239,321	228,261
その他	28,492	39,744
営業外費用合計	267,813	268,005
経常利益	270,567	885,749
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,492	-
為替換算調整勘定取崩額	2 204,941	-
その他	2	-
特別利益合計	206,436	-
特別損失		
固定資産除売却損	2,436	-
投資有価証券評価損	765	816
特別損失合計	3,202	816
税金等調整前四半期純利益	473,801	884,932
法人税、住民税及び事業税	11,314	12,027
法人税等調整額	2,654	1,742
法人税等合計	13,969	13,770
少数株主損益調整前四半期純利益	459,831	871,162
四半期純利益	459,831	871,162

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	459,831	871,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	549	887
為替換算調整勘定	75,750	143,703
その他の包括利益合計	76,300	144,590
四半期包括利益	383,531	1,015,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383,531	1,015,752

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	473,801	884,932
減価償却費	453,533	507,610
受取利息及び受取配当金	1,929	3,278
為替換算調整勘定取崩額	204,941	-
売上債権の増減額(は増加)	1,223,053	78,594
たな卸資産の増減額(は増加)	64,361	26,659
仕入債務の増減額(は減少)	15,735	57,549
未払金の増減額(は減少)	135,215	54,752
その他	41,382	473,502
小計	1,898,309	1,808,034
利息及び配当金の受取額	2,124	3,348
法人税等の支払額	34,232	16,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,866,200	1,794,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	570,000	640,000
定期預金の払戻による収入	560,000	640,000
有形固定資産の取得による支出	13,749	30,936
無形固定資産の取得による支出	152,182	319,528
差入保証金の差入による支出	193,621	1,665
その他	2,645	3,670
投資活動によるキャッシュ・フロー	366,907	355,800
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	31,882	35,393
自己株式の取得による支出	13	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,896	35,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	112,758	85,977
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,354,638	1,317,701
現金及び現金同等物の期首残高	4,674,902	7,415,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,029,540	8,733,001

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

<p>当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)</p>
<p>第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)																																
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">263,519千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給料手当</td> <td style="text-align: right;">1,211,441千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">178,039千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">40,274千円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">905,009千円</td> </tr> <tr> <td>業務委託費</td> <td style="text-align: right;">215,189千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">71,587千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">241,765千円</td> </tr> </table> <p>2 為替換算調整勘定取崩額は、JustSystems US Holding, Inc.清算に伴う連結除外益であります。</p> <p>3 当社グループの業績は季節的変動があり、売上高は第4四半期に偏っているのに対し、費用面では金額の大部分を占める人件費・減価償却費・業務委託費等といった費用は、売上高の多寡にかかわらず毎月発生する費用であるため、第2四半期連結累計期間の売上高に対する費用負担が大きくなっております。</p>	広告宣伝費	263,519千円	従業員給料手当	1,211,441千円	賞与引当金繰入額	178,039千円	退職給付費用	40,274千円	研究開発費	905,009千円	業務委託費	215,189千円	減価償却費	71,587千円	賃借料	241,765千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">313,715千円</td> </tr> <tr> <td>従業員給料手当</td> <td style="text-align: right;">1,055,967千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">179,494千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">49,439千円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">892,544千円</td> </tr> <tr> <td>業務委託費</td> <td style="text-align: right;">98,674千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">79,837千円</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">124,946千円</td> </tr> </table> <p>3 当社グループの業績は季節的変動があり、売上高は第4四半期に偏っているのに対し、費用面では金額の大部分を占める人件費・減価償却費・業務委託費等といった費用は、売上高の多寡にかかわらず毎月発生する費用であるため、第2四半期連結累計期間の売上高に対する費用負担が大きくなっております。</p>	広告宣伝費	313,715千円	従業員給料手当	1,055,967千円	賞与引当金繰入額	179,494千円	退職給付費用	49,439千円	研究開発費	892,544千円	業務委託費	98,674千円	減価償却費	79,837千円	賃借料	124,946千円
広告宣伝費	263,519千円																																
従業員給料手当	1,211,441千円																																
賞与引当金繰入額	178,039千円																																
退職給付費用	40,274千円																																
研究開発費	905,009千円																																
業務委託費	215,189千円																																
減価償却費	71,587千円																																
賃借料	241,765千円																																
広告宣伝費	313,715千円																																
従業員給料手当	1,055,967千円																																
賞与引当金繰入額	179,494千円																																
退職給付費用	49,439千円																																
研究開発費	892,544千円																																
業務委託費	98,674千円																																
減価償却費	79,837千円																																
賃借料	124,946千円																																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)												
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">6,679,769千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">650,229千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,029,540千円</td> </tr> </table>	現金及び預金	6,679,769千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	650,229千円	現金及び現金同等物	6,029,540千円	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金</td> <td style="text-align: right;">9,382,321千円</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">649,320千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">8,733,001千円</td> </tr> </table>	現金及び預金	9,382,321千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	649,320千円	現金及び現金同等物	8,733,001千円
現金及び預金	6,679,769千円												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	650,229千円												
現金及び現金同等物	6,029,540千円												
現金及び預金	9,382,321千円												
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	649,320千円												
現金及び現金同等物	8,733,001千円												

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

当社グループは、ソフトウェア関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円16銭	13円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	459,831	871,162
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	459,831	871,162
普通株式の期中平均株式数(株)	64,224,354	64,224,317

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間においては希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、当第2四半期連結累計期間においては潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(退職給付制度の変更)

従来、当社の退職給付制度は適格退職年金制度と退職一時金制度を採用しておりましたが、平成23年10月1日付けで適格退職年金制度を廃止し、規約型確定給付企業年金制度と退職一時金制度へ移行いたしました。なお、本移行に伴う影響額につきましては現在算定手続き中であるため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社ジャストシステム
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中野 眞一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥津 佳樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジャストシステムの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジャストシステム及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。